

じっくりと文章を読み、内容について自分の考えをもつ児童の育成 ～読解力、読む意欲を高める工夫～

燕市立大関小学校

1 学校の概要

燕市立大関小学校（菅家正人校長，児童数118人）は，132年の歴史と伝統のある学校である。春は太く立派な桜の木が花を咲かせ，夏は新緑が美しく，秋にはトンボが飛び交う自然豊かな地域である。また，大曲河川公園や交通公園，燕市産業史料館などの公共施設が学区内にあり，何度も通うことで，計画段階から児童が学びを創る主体性を育てている。



2 NIE実践のねらい

本校では，「じっくりと文章を読み，内容について自分の考えをもつ児童の育成～読解力，読む意欲を高める指導の工夫～（1年次）」を研究主題として校内研修を進めている。

昨年度末の研修では，「読むこと」が苦手な児童が多くいること，話し合いによる学びの深まりが見られないという2点の課題が挙げられた。単元テストやWeb配信集計システム等でも，条件に合わせて書く問題や順序立てて計算したり説明したりする問題の正答率が低く，無回答も多かった。そこで，児童の読む力や議論する基盤である自分の考えをもつ力をつけるために，新聞のよさを活用できないかと考えた。

1年次として，まずはNIEについて理解し，教職員自身が新聞のよさを見つけること，新しい学習指導要領の3つの柱に合わせた学習を創りながら，新聞のよさを授業で活用していくことをねらいに実践に取り組んだ。

3 本年度実践の概要

（1）新聞閲覧コーナー

- ・NIE事業で購読している新聞を各階廊下に開架
- ・掲示板や廊下に児童や教職員が作成した新聞スクラップを掲示

（2）NIEタイム

朝活動や帯時間に各学年で工夫して新聞に親しむ活動を行った。

- ・低学年…記事読み聞かせ，カタカナ探し，写真活用
- ・中学年…気に入った新聞記事選び，感想交流
- ・高学年…新聞スクラップ，ワークシートを活用した読取，意見交流

(3) 校内研修

①授業公開研修

②職員研修会

県 NIE アドバイザーの関慎太郎様（新潟大学附属長岡小学校）を招き、研修会を行った。手探りで NIE 実践を進める中、分かりやすく助言をいただき、参考にしながら新たな方法を探ったり、他のクラスのよい活用方法を共有したりできた。

① 8 月 24 日（月） ・講話「NIE とは？」 ～基礎とポイント～	新聞活用のメリットや事例や活用場面などを教えていただき、その後実際に 2 学期からどのように活用できそうか、単元や活動場面を相談し合うことができた。
② 11 月 22 日（火） 授業公開、ご指導 （6 年算数科「比例・反比例」）	紙面の一覧性をさらに活用する方法、情報を活用する授業構想について助言いただいた。算数科での NIE 実践は大きな学びとなった。

4 実践例

たけのこ 1 組 国語科「新聞記事を活用して読む力を高めよう」

①新聞活用のねらい

- ・社会への興味・関心をもたせ、読解力と思考力、表現力をつける。

②使用した新聞記事

- ・主に読売新聞と毎日新聞

③活動の概要・手だて

- ・朝活動 15 分間を利用して、A4 サイズの新聞記事を配付して新聞を読んだり、記事に対する感想や意見を書いたりする。

④成果と課題

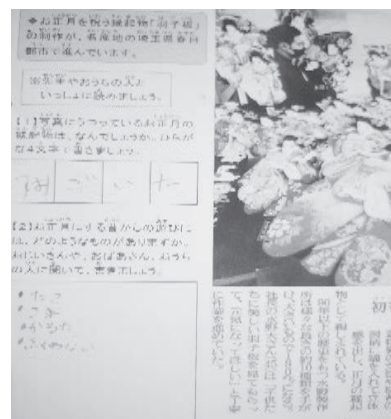
○初めて読む文章に抵抗感を示す児童は少なくなってきた。朝のわずかな時間でも書く活動を取り入れたため、書くことにもスムーズに移れるようになり、文章に慣れてきている。

○単元末テストの読解力を問う問題の正答率が上昇している。

○新聞記事の内容が家庭での会話のきっかけにもなっている。

△興味をもてるような記事を選択したが、短い時間で読める内容や難易度の調整が難しかった。

△新しい言葉に興味をもつ児童が増えた。さらにその意味を理解して活用するようになるためには、意味調べや短文づくりなどの時間を確保する必要がある。



1年 図画工作科 「いろいろなかたちのかみから」

①新聞活用のねらい

- ・新聞に触れる機会を増やし、新聞に親しむ。

②授業の概要・手だて

- ・新聞を縦に切ったり、横に切ったりして、手の感覚を養う。
- ・1枚の新聞から、色々な物に変身できることを実感させる。

③成果と課題

○柔らかい素材の新聞をちぎったり丸めたりすることを楽しんでいた。

○新聞写真をバッグの模様にするなど写真や文字に注目している。

△低学年にあった新聞の活用をもっと考えたい。



2年 国語科 「かたかなで書くことば」

①新聞活用のねらい

- ・カタカナを使って表記する言葉の種類を知り、新聞の中からカタカナで書く言葉を集める。

②使用した新聞記事

- ・朝日新聞、読売新聞

③授業の概要・手立て

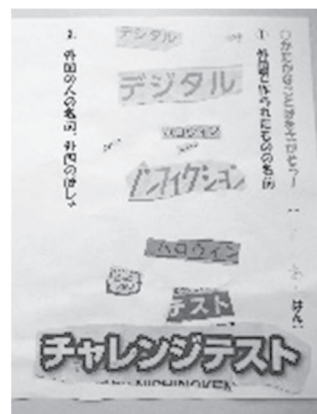
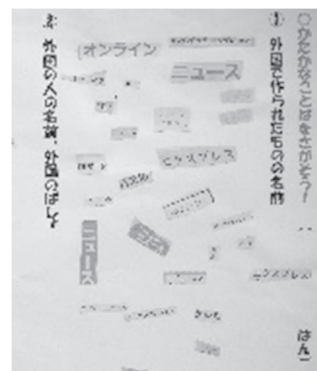
- ・「あずきアイス」のように、ひらがなで書く言葉とカタカナで書く言葉にはきまりがあることに気付く。
- ・「外国から来た言葉」「外国の国や土地、人の名前」「物の音、動物の鳴き声」はカタカナで表すことを知る。
- ・新聞記事からカタカナで書く言葉を探し、分類する。

④成果と課題

○最初は見出しからカタカナを探していたが、もっと見つけようと記事の方にも触れていた。

○カタカナ言葉を見つける中で、「この言葉ってどういう意味？」という質問が出てきた。新聞活用によって、普段の生活では使わない言葉に触れることができた。

△新聞は一人1枚配付したが、児童によっては情報量が多く、探したり分類したりできない児童もいた。ペアやグループなど、活動の仕方にも工夫が必要である。



3年 社会科 「事故や事件からまちを守る」

①新聞活用のねらい

- ・警察の様々な仕事を新聞記事から学ぶ。

②使用した新聞記事

「不法侵入許さない 佐渡空港で訓練」

(2019年10月18日新潟日報)

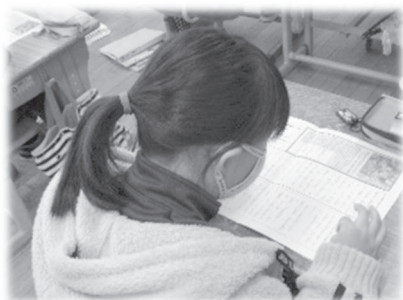
③授業の概要・手だて

- ・警察や地域住民が行っている記事をもとに、警察や地域住民が犯罪防止や交通安全のためにどのような取組を行っているかを考える。
- ・資料となる新聞記事を読み、ワークシートに取組の内容をまとめる。

④成果と課題

- 地域面の記事を活用したため、児童には身近な話題で考えることができた。
- △新聞記事を読む時間と記事からどのように考えたかの話合いの時間の配分が難しかった。

⑤協議内容



- ・複数の記事を一人がすべて読み込むのではなく、読み取る記事を分担して読む。その後グループで警察の活動についてどのようなものがあるか考える方法にすると、話合いはもっと深められた。
- ・先に写真のみを見せて、どんな記事かを考えてから活動に入ると関心がより深まった。



4年 社会科 「水はどこから～水源を守る取り組み～」

①新聞活用のねらい

- ・水源の森を守っている人々の存在に気づき、具体的な取組を調べる。

②使用した新聞記事

「清流と大河」

(2004年11月19日新潟日報)

③授業の概要・手だて

- ・木を切っている新聞記事を見て、既習事項との矛盾に気付く。
- ・人工の森は、手入れをすることで元気になることを学ぶ。
- ・新聞記事から水源や川を守る具体的な取組を調べる。(清掃活動・浄化装置)

④成果と課題

- 新聞記事を提示することで、「木は緑のダムなのに切っていいのか」と児童は既習事項との矛盾にすぐに気づき、本時の課題につながった。
- 県内の取組を示すことで興味をもって調べたり読んだりしていた。
- △新聞を一人で読み切るには時間を要する。グループ活動など工夫がいる。



5年 国語科 「グラフや表を用いて書こう」

①新聞活用のねらい

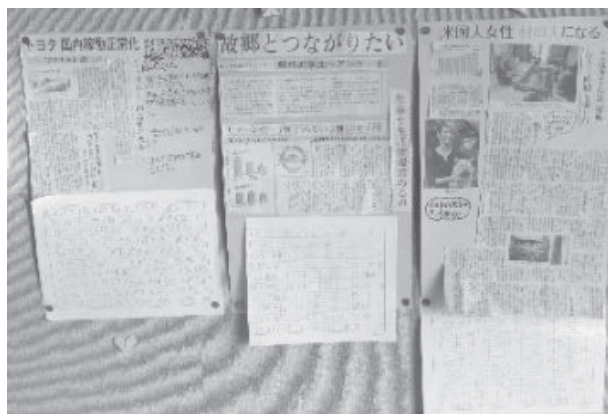
- ・グラフや表などの統計資料や本文を読み取り，自分の考えをまとめる。

②授業の概要・手だて

- ・リード文や本文を読み，記事が何を伝えたいのかを読み取る。
- ・統計資料から，分かる事実とそこから考えられることについてまとめる。
- ・段落構成を意識して，自分の伝えたい内容を200字程度でまとめる。

③成果と課題

- 自分で記事を探すので，意欲的に新聞を読んでいた。
 - 考えをまとめるので，どのような記事や統計資料なのかを，自ら読み取ろうとしていた。
 - 新聞記事をトリミングするので，楽しみながら活動していた。
- △掲示するスペースも必要である。
△計画的に実施すると効果的である。



6年 算数科 「比例・反比例」

①新聞活用のねらい

- ・身近な事象から2つの数量関係に気付き，その変化の特徴をとらえる。また，その変化の特徴を利用して，今後の傾向を読み取っている。

②使用した新聞記事

「広がる緩み 警報慣れ」(2021年8月1日新潟日報)

③授業の概要・手だて

- ・オリンピック直後の新型コロナウイルス感染拡大の記事を用いて，日にちが経つにつれ，感染者数が増加していきそうなことを捉える。
- ・7月31日～8月15日までの感染者数のグラフを作成する。
- ・このグラフをもとに，8月30日の感染者数を一人一人が考える。

④成果と課題

- 新型コロナウイルス感染拡大という身近な社会事象と算数の学習を結び付けることができた。
 - 比例の考え方の他に平均の考え方をを使って感染者数を予想するなど，これまでの既習事項を使って考える姿が見られた。
- △記事の内容をもとにした考えと算数の考え方をつなげることに難しさを感じた。



⑤ 協議内容

「新聞記事やデータの活用は，自分の考えをもつ手立てとして有効であったか」

- ・新型コロナウイルスという話題は児童にとって身近なものだったため学習意欲につながった。
- ・タブレットにデータを入力することでグラフが作成されるので，そのグラフをもとに今後の感染者数を考えていた。
- ・新聞のデータをもとに表・式・グラフを利用して記事にない値を予想する活動は，関数のよさを実感させる内容だった。
- ・数値の変化の仕方に注目させるような働き掛けが必要だった。
- ・友達の考え方を聞いてからもう一度課題に取り組むことができたなら，考えを深めることができるのではないかな。



5 成果

- ・職員室で新聞紙を手にとったり読んだりする教職員の姿が増え，学習場面で活用することが増えている。
- ・一覧性，地域性，信頼性，多様性，記録性など新聞のよさに気付いた。
- ・新聞を活用することで，教職員同士の話題が豊富になった。
- ・継続して取り組むことで，児童が新たな新聞記事を読むことに意欲的になり，集中して読んだり考えたりしている姿が多くなっている。

【2年次に向けて】

- ・全校一斉 NIE タイム
全校で取り組む時間や内容を決め，年間を通して継続していく。
- ・各社こども新聞の活用
フリガナ付きのため，低学年児童も自力読みができる。主に2，3年生の学習や親しむ活動での活用法を探っていく。
- ・新聞紙面の有効活用
授業で新聞を活用する場面を積極的に設ける。活用できそうな記事を洗い出し，学年・テーマごとに一覧にまとめ，見返しやすいうようにしていく。
また，デジタル版紙面ビューアーの活用も検討していく。

(永野 真衣)